

文化の風が吹くまち ちくしの
文化薫道

問い合わせ先／文化財課(歴史博物館内)
☎(021)8419

一其の二十八
天を衝く武蔵のイヌマキ群

武蔵寺境内の横を流れる小川のほとりに、青々とした葉を茂らせるひときわ背の高い木々があります。福岡県の天然記念物に指定されている「武蔵のイヌマキ群」です。

イヌマキはマキ科の一種で、生垣や庭木など私たちの身の回りでもよく見かける樹木の一つです。きれいに刈り揃えても、

幹や枝葉がすぐに伸びてしまうとせつかく整えた形が崩れてしまうため、生垣や庭木には成長速度の遅い木が使われています。丈夫で風に強く成長速度が遅いイヌマキはこの条件にピッタリなのです。同時にこの特徴から、イヌマキには大木に

育つものが少ないといわれています。



青葉茂るイヌマキ



紫藤の滝から見たイヌマキ

武蔵のイヌマキも幹周りは2メートルほどと飛び抜けて大きいわけではありませんが、その高さは20メートルを超えており、福岡県内でも屈指の高さです。生育状態が良いこと、群生するイヌマキは県内でも貴重な存在であることも評価されています。紫藤の滝、御自作天満宮、武蔵寺とともに静かで緑豊かな空間が広がる天拝山の裾野。そこで周囲の木々を超える高さに達した「武蔵のイヌマキ群」の、天を衝くような姿をぜひご覧ください。

